

リュツォ・ホルム湾の海氷状況について

資料3-2
南極地域観測統合推進本部
第51回観測・設営計画委員会
R5.6.15

2023年5月

国立極地研究所 南極観測センター

第64次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中や第65次隊夏期の行動計画の参考とするため、衛星画像や昭和基地における目視・気象・潮汐観測、無人航空機による空撮情報をもとに、「しらせ」航路や基地接岸地点周辺の氷状を監視している。

昨年2022年の氷状

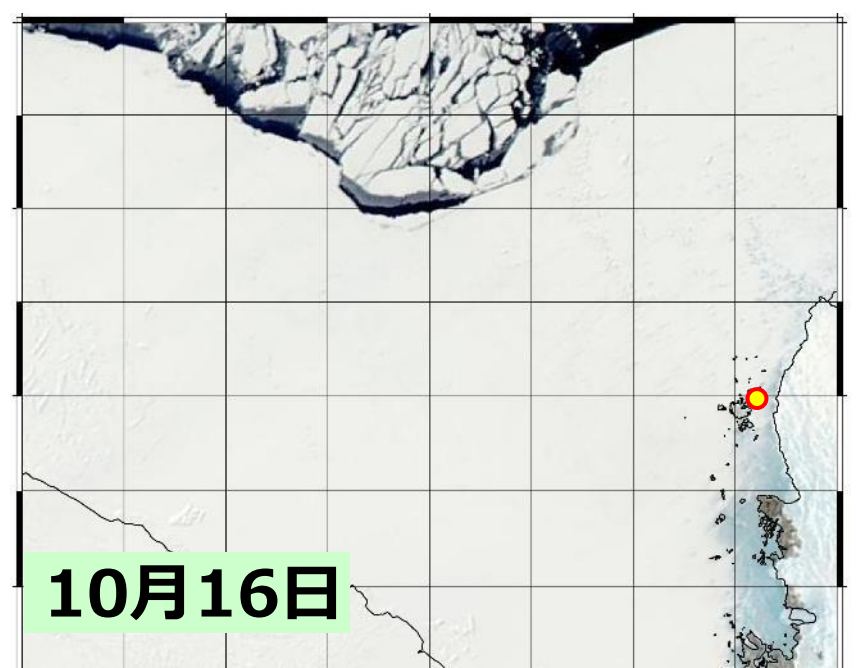
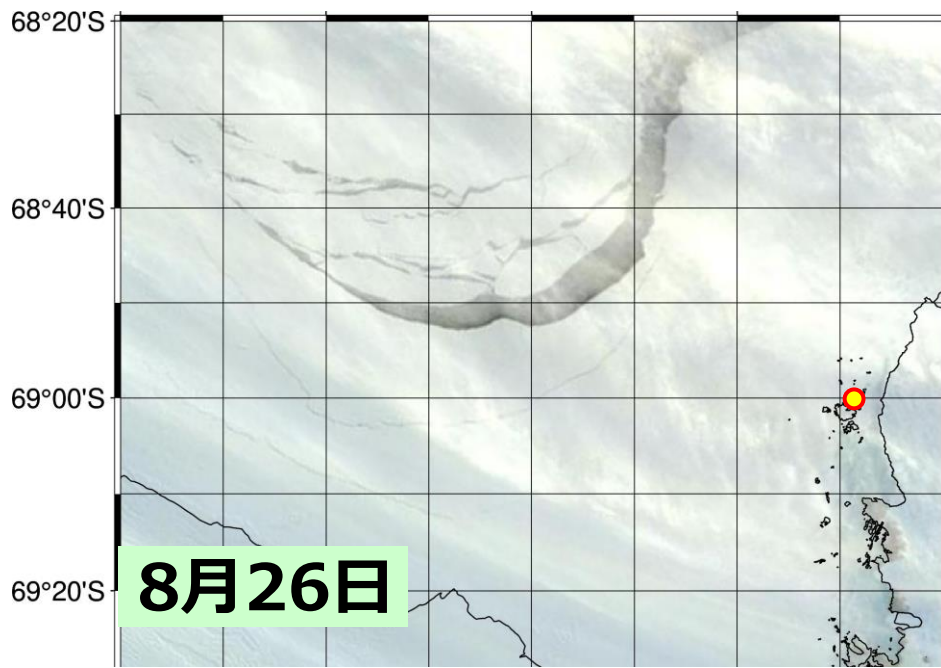
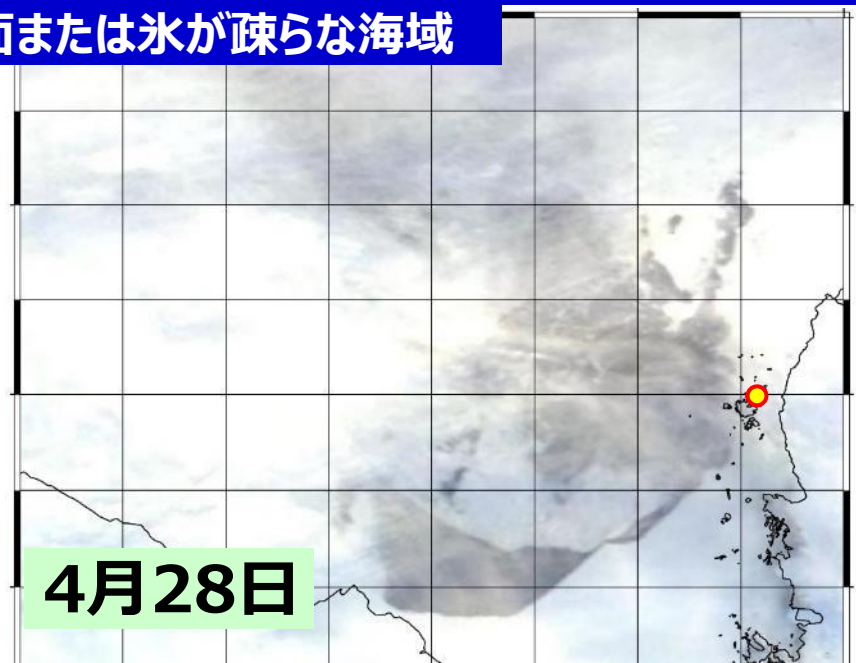
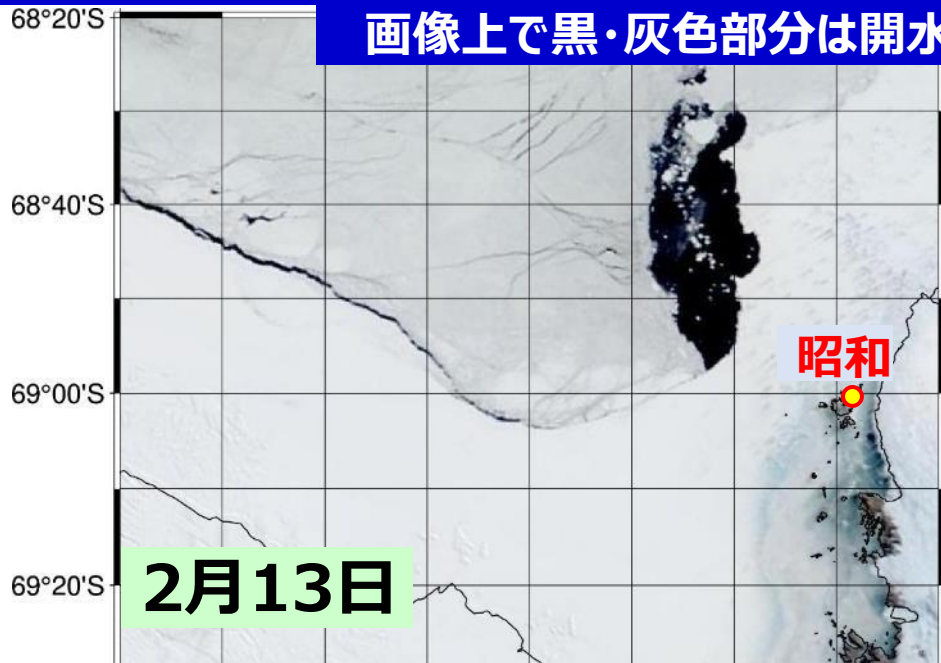
- 湾内では4月下旬、定着氷域の割れ込みが広く発生し、「しらせ」航路に当たる弁天島周辺の多年氷域の一部が一年氷帯となった。年内は68°40'S付近に定着氷縁が位置し、その沖側で凍結と流氷化とを繰り返した。
- オングル海峡の定着氷は安定していた。12月上旬の接岸地点周辺における実測では氷厚150～200cm、積雪深50～80cmであった。

2023年1月～5月上旬の氷状

- 湾内では、3月下旬以降、定着氷域で割れ込みが進行している。
- 海峡の定着氷域では2月中旬に開水面が拡がり、昨季の接岸地点も割れた。その後、開水面領域では薄氷形成が観察されたが、強風やブリザードの後には再び割れている。5月上旬時点で大陸側の一部が開水面になり、海峡全域では結氷に至っておらず安定していない。

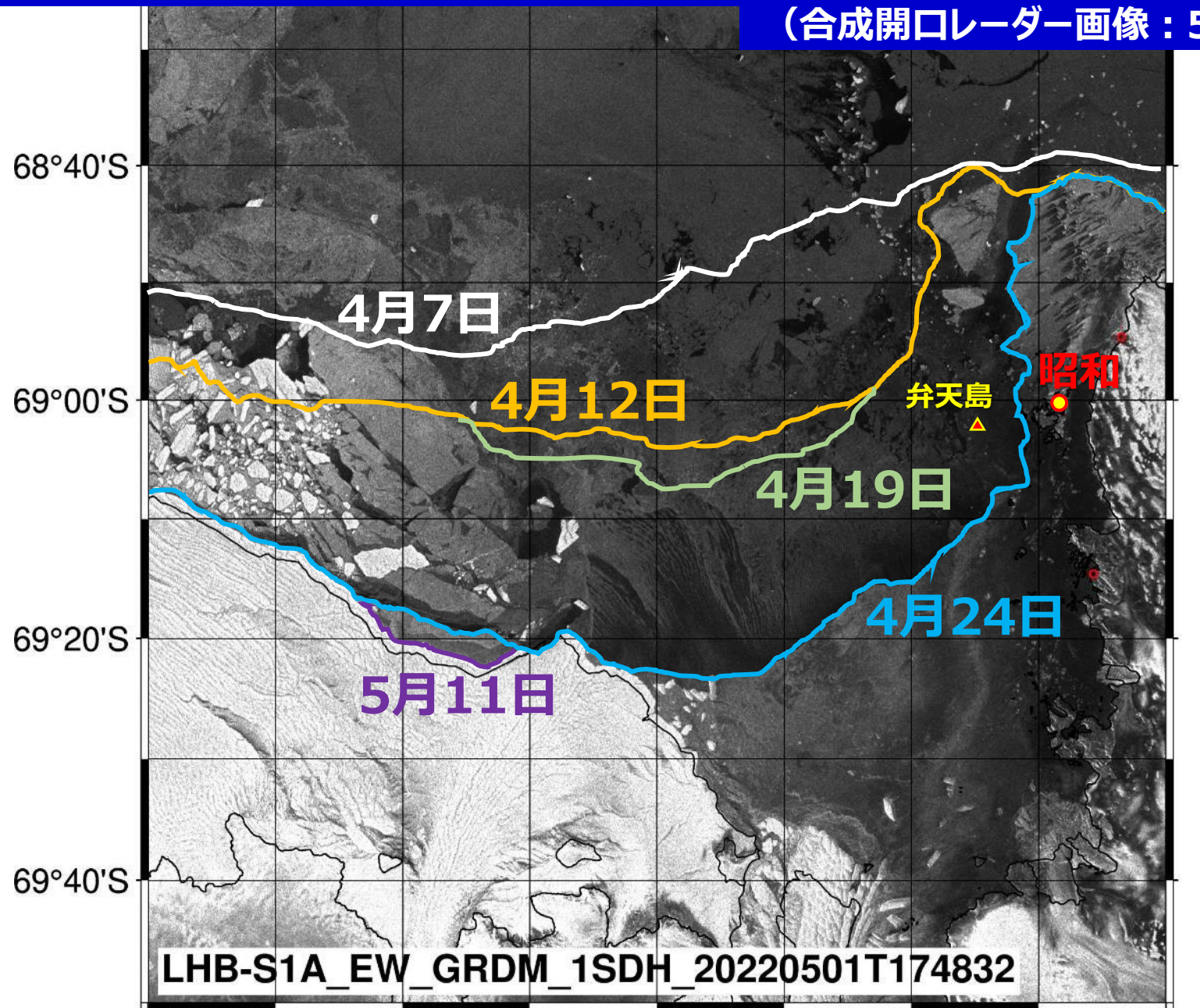
昨年2022年のLH湾内の定着氷

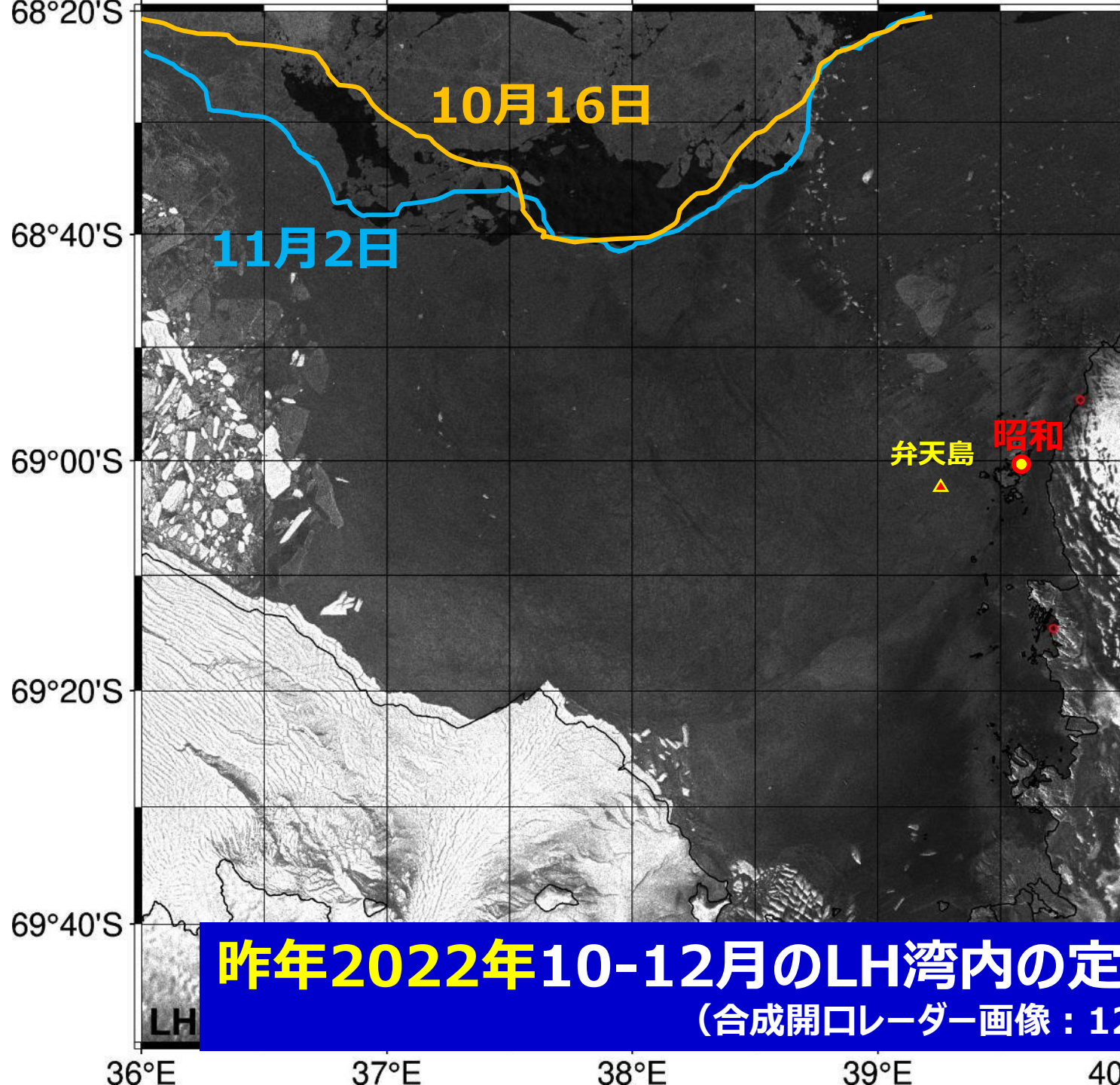
画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



昨年2022年4-5月のLH湾内の定着氷縁

(合成開口レーダー画像：5月1日)



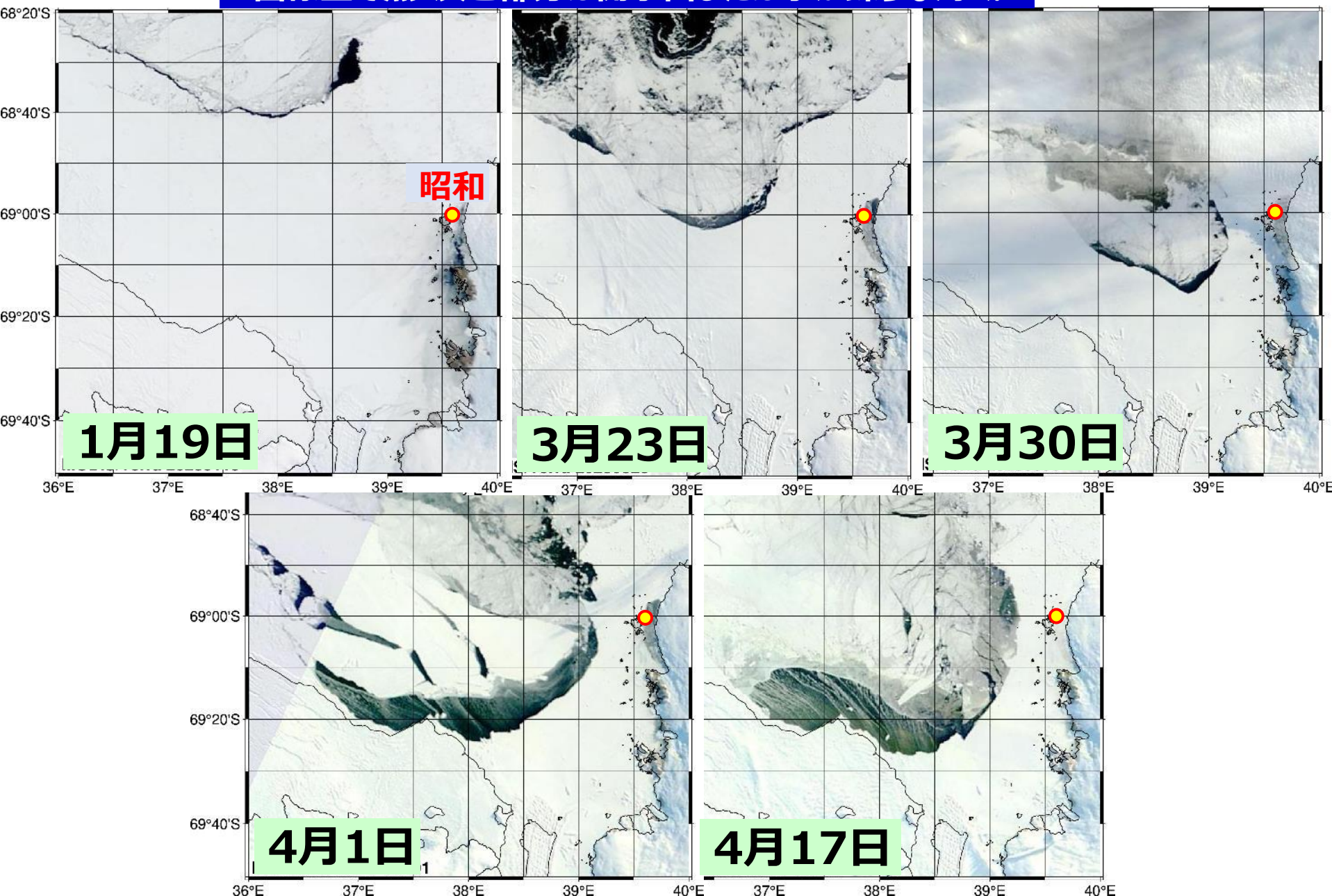


昨年2022年10-12月のLH湾内の定着氷縁

(合成開口レーダー画像：12月27日)

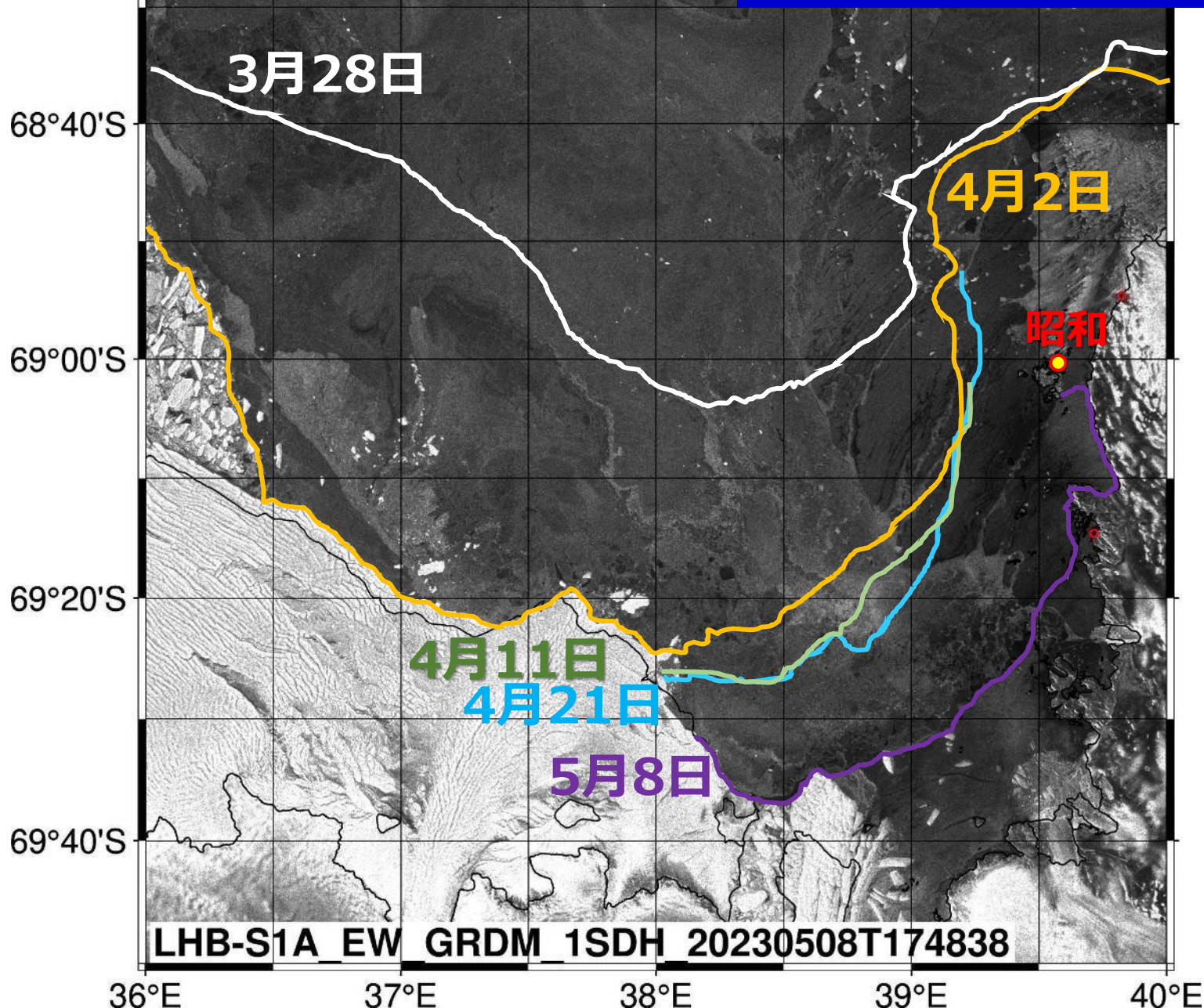
今年2023年1-4月のLH湾内の定着氷

画像上で黒・灰色部分は開水面または氷が疎らな海域



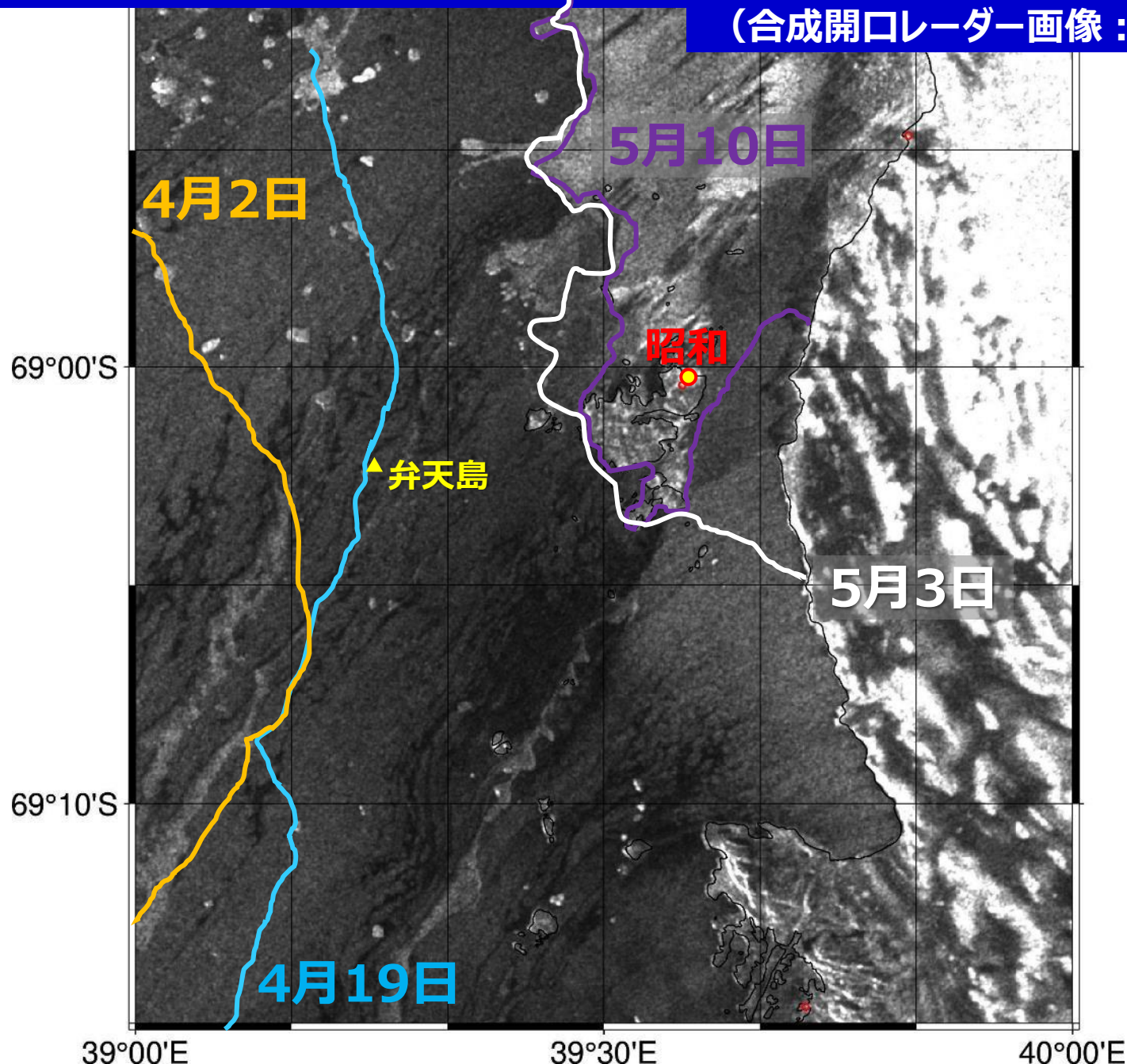
今年2023年3-5月のLH湾内の定着氷縁

(合成開口レーダー画像：5月8日)



2023年4-5月の昭和基地付近の定着氷縁

(合成開口レーダー画像：5月8日)



5月11日の昭和基地周辺の開水面

(64次越冬隊が無人航空機を用いて基地主要部300m上空から撮影)

北

東

南



南

西

北西

